



開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

たきざわ市議会だより

第32号

令和2年5月15日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会

3月会議 令和2年度予算可決

総額 308億459万円

一般会計当初予算 ……183億9,000万円
特別会計(国民健康保険等4件) ……88億8,589万円
企業会計(水道・下水道) ……35億2,870万円



歳入(一般会計)

- 自主財源…67億6,304万円
(市税・使用料・手数料等)
- 依存財源…116億2,696万円
(地方交付税・国県支出金・市債等)

歳出(一般会計)

- 経常的経費…156億4,835万円
(人件費・扶助費・公債費・物件費・補助費等)
- 投資的経費…11億151万円
(普通建設事業費・災害復旧事業費)
- その他の経費…16億4,014万円
(積立金・投資及び出資金・貸付金・繰出金・予備費)

後期基本計画の2つの柱

- 若者定住を推進**
■セミナーなどを通じて自由な発想で地域の課題や魅力向上に取り組む人材育成に…1,720万円
- 健康づくりを推進**
■周囲に健康の正しい知識を伝える「健幸アンバサダー」の養成に…129万円
■地域のウォーキングマップ作成やノルディックウォーキングの教室開催に…126万円

東部体育館の屋根やトイレの改修
1億2,267万円



小岩井駅前広場の舗装工事など
7,650万円



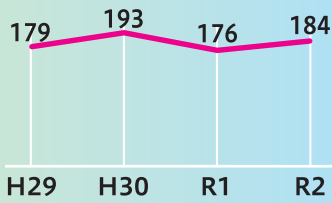
市の貯金は
9億2,597万円
市民一人あたりの
借金は前年度より
8千円減の
33万7千円



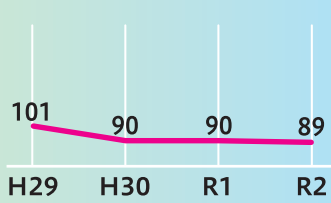
主な新規事業

- 滝沢南中学校の通学路の防犯灯整備 ……2,150万円
- 滝沢中学校の放送設備改修 ……1,597万円
- 空き家対策 ……894万円

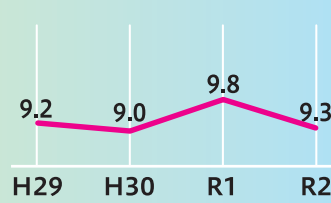
一般会計予算の推移



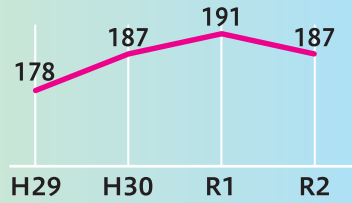
特別会計予算の推移



貯金の推移



借金の推移



(金額は予算ベース・単位：億円)

歳入審査

【問】市民税個人分の税収増約1300万円の要因は。

【答】元年度の毎月勤労統計の個人所得の伸びを平均し見積もったものです。

【問】市民税個人分は、30年度の決算額、元年度の補正増から過少では。

【答】生産年齢人口が減少し、過少ではない見積もりと考えています。

【問】市民税法人分の税収減約1300万円の要因は。

【答】税率が令和元年10月から12・1%が8・4%と改正になったことによるものです。

【問】固定資産税の税収増約6千万円の要因は。

【答】主たる要因は建物の新増築約350棟分が見込まれていることです。

【問】国有資産等所在市町村交付金の約1200万円の増の要因は。

【答】東北防衛局財産の宿舍分が加わったことによるものです。

【問】法人事業税交付金の新規分の約1700万円の要因とその評価は。

【答】税制改正に伴う法人税の減を補てんする目的の交付金です。

【問】県の30年度決算を基に、約1700万円の交付を見込んでいるものの、実際にどのようなように本市に反映されるのか注視して

【問】市民税個人分の税収増約1300万円の要因は。

【答】元年度の毎月勤労統計の個人所得の伸びを平均し見積もったものです。

【問】市民税個人分は、30年度の決算額、元年度の補正増から過少では。

【答】生産年齢人口が減少し、過少ではない見積もりとと考えています。

【問】市民税法人分の税収減約1300万円の要因は。

【答】税率が令和元年10月から12・1%が8・4%と改正になったことによるものです。

【問】固定資産税の税収増約6千万円の要因は。

【答】主たる要因は建物の新増築約350棟分が見込まれていることです。

【問】国有資産等所在市町村交付金の約1200万円の増の要因は。

【答】東北防衛局財産の宿舍分が加わったことによるものです。

【問】法人事業税交付金の新規分の約1700万円の要因とその評価は。

【答】税制改正に伴う法人税の減を補てんする目的の交付金です。

【問】県の30年度決算を基に、約1700万円の交付を見込んでいるものの、実際にどのようなように本市に反映されるのか注視して

【問】地方消費税交付金約11億円と本市発注の工事に関する消費税分との関連は。

【答】本市の工事関連分に起因する消費税分は約3億円と捉えています。

【問】減収補てん特例交付金6400万円の要因は。

【答】この交付金はさまざまに税制改正による地方の減収を補てんする目的であり、内容としては、住宅ローン減税や自動車取得税の廃止に伴い、導入された環境性能割の減税の分です。

【問】地方交付税の基礎となる基準財政需要額の算定に関連する市債償還金と市債の均衡を保つ諸案件は。

【答】市債償還額のうち基準財政需要額に算定される起債は、元年度では約13億8千万円のうち約9億6千万円のみであり、約4億円は一般財源での対応となります。また財政運営上、償還額より多い新たな起債をしないことが重要と考えています。

【問】寄附金のふるさと納税の対応は。

【答】ふるさと納税については、担当課を財務課から観光物産課に所管替えし、観光協会との連携を強化するとともに、特産品等のPRを進め、更にサイトも増やしながら税収増を図ります。

会派代表質問

《3月会議》

滝沢市議会では6つの会派が結成されており、日々活動しています。

それらの活動を活かして年に一度、市長施政方針及び教育施政方針の演述に対して各会派の代表がそれぞれ質問します。

今年3月6日(金)に会派代表質問を行いますので、概要をお知らせします。



県立大学アーチ前にて「青い春 薄紅色に染まる頬」写真提供：eye2→weave たきざわ

Q 健やかで笑顔にあふれるまちをつくるための支援策は
A 地域福祉の担い手が活動しやすい環境づくりを継続します



新志会 山谷 仁 議員

Q 市長は就任以来1年4ヶ月を経て、前市長から大きく舵を切った計画・事業はどんなものがあるのか。
A 元年度から四年間の市の政策 方向性を示した第一次滝沢市総合計画後期基本計画の舵を取るのが私の考える市政を進めることと考えています。

Q 健康福祉部がめざす4年後の姿「健やかで笑顔にあふれるまち」をつくるため、地域福祉の向上と生活困窮者への具体的な支援策は。
A 要支援者の課題解決に向け、地域組織、地域支援者、市社会福祉協議会、関係機関と市が連携、協力しながら、地域福祉の担い手である民生委員・児童委員を支援し、活動しやすい環境づくりを継続します。

Q 展開戦略として掲げている「健康づくり」と若者定住は、調査、分析などを行いながら基本計画策定を進める中で、市内の議論、検討から導いたものであり、今後重点的に進める大きな戦略であると考へます。
A 男女共同参画社会の推進、女性の活躍できる環境づくりが世界の課題であり、特に日本が遅

Q 生活困窮者については生活保護制度または生活困窮者自立支援制度による支援を行っています。
A いつまでも住み続けたいと思える街づくり



Q 若者定住に向けた施策は高校や大学との連携及び交流の拡大を図っていますか
A 若者定住に向けた大学、高等学校との連携及び交流施策は、



滝政会 角掛 邦彦 議員

Q 若者定住に向けた大学、高等学校との連携及び交流施策は、
A ふるさと納税推進強化や企業版ふるさと納税等の研究を進め、自主財源の拡大に取り組めます。

Q 地域別計画実現に向けての更なる施策は。
A 計画の課題を意識し、各懇談会とともに新しい事業展開をめざします。

Q 地域別計画実現に向けての更なる施策は。
A 各自自治会からの施設拡充施策は、

Q 市民懇談会及び市長懇談会での意見等の予算への反映は。
A 懇談会、座談会での意見や提言は庁内で共有し、各部・課で対応方針について検討します。

Q 2年度予算で力を入れた施策は。
A 「健康づくり」と「若者定住」に関する施策を重点的に展開します。

Q 健康づくりと若者定住に
関し重点的に展開します
A 健康づくりは「健康アンバサダー」の養成や健康づくり宣言参加団体の支援、ウォーキングマップの作成、健康応援フェスタや事業所対抗健康づくりコンクールを実施します。



公明党 相原 孝彦 議員

Q 2年度予算で力を入れた施策は。
A 「健康づくり」と「若者定住」に関する施策を重点的に展開します。

Q 健康づくりと若者定住に
関し重点的に展開します
A 健康づくりは「健康アンバサダー」の養成や健康づくり宣言参加団体の支援、ウォーキングマップの作成、健康応援フェスタや事業所対抗健康づくりコンクールを実施します。

Q 健康づくりと若者定住に
関し重点的に展開します
A 健康づくりは「健康アンバサダー」の養成や健康づくり宣言参加団体の支援、ウォーキングマップの作成、健康応援フェスタや事業所対抗健康づくりコンクールを実施します。

Q 健康づくりと若者定住に
関し重点的に展開します
A 健康づくりは「健康アンバサダー」の養成や健康づくり宣言参加団体の支援、ウォーキングマップの作成、健康応援フェスタや事業所対抗健康づくりコンクールを実施します。

Q 地域づくり懇談会の今後の在り方は
構成メンバーを増員し近隣の懇談会との連携も大切です
A 市民主体の地域づくりである地域別計画の成果は、



滝沢市民クラブ 齋藤 明 議員

Q 地域づくり懇談会の今後の在り方は
構成メンバーを増員し近隣の懇談会との連携も大切です
A 市民主体の地域づくりである地域別計画の成果は、

Q 地域づくり懇談会の今後の在り方は
構成メンバーを増員し近隣の懇談会との連携も大切です
A 市民主体の地域づくりである地域別計画の成果は、

Q 地域づくり懇談会の今後の在り方は
構成メンバーを増員し近隣の懇談会との連携も大切です
A 市民主体の地域づくりである地域別計画の成果は、

Q 地域づくり懇談会の今後の在り方は
構成メンバーを増員し近隣の懇談会との連携も大切です
A 市民主体の地域づくりである地域別計画の成果は、

Q 地域づくり懇談会の今後の在り方は
構成メンバーを増員し近隣の懇談会との連携も大切です
A 市民主体の地域づくりである地域別計画の成果は、

Q 高すぎる国民健康保険税の軽減を
図るべきと考えるがどうか
A 低所得者には必要な条例改正を行い
適正に実施します



日本共産党 仲田 孝行 議員

Q 高すぎる国民健康保険税の軽減を
図るべきと考えるがどうか
A 低所得者には必要な条例改正を行い
適正に実施します

Q 高すぎる国民健康保険税の軽減を
図るべきと考えるがどうか
A 低所得者には必要な条例改正を行い
適正に実施します

Q 高すぎる国民健康保険税の軽減を
図るべきと考えるがどうか
A 低所得者には必要な条例改正を行い
適正に実施します

Q 高すぎる国民健康保険税の軽減を
図るべきと考えるがどうか
A 低所得者には必要な条例改正を行い
適正に実施します

令和元年12月議会 議会モニターさんの意見・回答

議会の傍聴

- インターネット中継でも議場で使用した画像が確認できるように！
- 一般質問において、具体的な言質、本音で議論、提案型質問、十分な事前調査等が重要！
- 一期目議員の一般質問は、提言が含まれているものもあったが、意図・目的が見えにくい、事前調査不足、持論展開や要望が多いなどの質問も散見されていた！
- 二期目以上議員の一般質問は、目的・論点、方向性が不明な質問が多かった！
- 議会モニターや市民の意見に対し、議会全体での基本条例に基づいた「振り返り」を！



- 現在、議会改革推進会議では「議会ICT化検討チーム会議」を設置、ICT化推進の検討を進めているところですので、貴重なご意見を今後の検討材料として活かしていきたいと考えています。
- 一般質問に関連したご意見については、全議員で確認・共有するとともに、改めて振り返りの材料とし、今後の一般質問に活かしていきます。

議会だより

- 議会傍聴者推移の掲載を！
- 傍聴者の感想を掲載して！
- 賛否が確認された議案について、賛成・反対の意見を掲載して！

- 2月発行誌から、議会傍聴者の推移を掲載しました。
- 賛成・反対討論があれば、掲載しています。



その他

- 一般質問でスクリーンが使用されたが、議会モニターから既に提案していたこと！
- 質疑は一問一答方式

- 2月発行誌から、議会傍聴者の推移を掲載しました。
- 賛成・反対討論があれば、掲載しています。

- 議会モニターからの意見を踏まえて、12月会議からスクリーン使用を開始しました。
- 基本条例に準じ、一括質問としています。
- 所属政党のアピール、各会派の紹介については、今後の検討事項として、対応していきます。



本市の健康づくりに関する調査結果からは、60歳未満、特に30歳代の運動習慣の少なさが課題となっており、担当課ではすでに当該世代を対象とした「滝沢市健康体操プロジェクト」を作成し、

環境厚生常任委員会所管事務調査報告書「健康体操について」による若者世代へのPRも重要な要素と考えられます。

このことから、健康づくり意識のさらなる醸成のため、環境厚生常任委員会では本市独自の「健康体操について」を調査しました。

本市は元年度からの滝沢市総合計画後期基本計画の中で、幸福感を育む環境づくりに向けた戦略として「健康づくり」若者定住」を柱として定めています。

環境厚生常任委員会所管事務調査報告書「健康体操について」



三郷市にて健康体操を体験



久喜市にて説明聴取

5～7月議会の活動

5月18日(月)	議会運営委員会※	6月23日(火)	6月会議(一般質問)
5月18日(月)	全員協議会※	6月24日(水)	6月会議(一般質問)
6月11日(木)	議会運営委員会※	6月26日(金)	6月会議(最終日)
6月11日(木)	全員協議会※	7月9日(木)	全員協議会※
6月18日(木)	6月会議(初日)	7月14日(火)	議会運営委員会※
6月19日(金)	各常任委員会※	7月14日(火)	全員協議会※
6月22日(月)	6月会議(一般質問)		

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。
※は、それぞれ委員会室等で開かれます。

滝沢市議会ホームページ

QRコードをスマートフォンなどの携帯端末で読み取ると「滝沢市議会」のホームページをご覧いただけます。



3月会議の傍聴者30名(前年3月29名)



令和元年 議会評価結果(H31.1～R1.12)

市議会では、滝沢市議会基本条例第35条の規定により、毎年の「議会評価」の公開が義務付けられています。元年の評価は、以下の一覧のように12項目中6項目で改善が見られました。これは、議会だより第29号(元年11月発行)で公表した「議会サイクル」が機能し始めたことによる効果と考えています。

議会サイクルでは、各常任委員会が市民の声(議会報告会や市民議会等)をさまざまな角度から議論し、調査研究した成果を議案や予算決算の審議に活かすこととしています。

しかしながら、まだ「5:理想の議会像」の域には至っておらず、これからも努力・改善が必要と考えています。また、現在は議会内部による自己評価であることから、第三者の視点からの評価も必要と考えています。

大項目	小項目	評価視点	H30	R1
市民参加	市民からの意見の取上げ状況	市民の多様な意見の掘り起こしのため、議会報告会(年1回の義務)・市民議会・市民懇談会を計画的に実施している状態。「5」となるには1年間又は任期4年間での計画が必要。	4	4
	市民の議会参加状況	計画的に実施する議会報告会・市民議会・市民懇談会に、継続的に市民が参加し、発言している状態。「5」となるには「より多くの市民の参加」ができるように工夫が必要。	4	4
	意見の活用状況	市民の意見を、その後の一般質問や各議案審議、予算及び決算審査に活かしている状態。	3	4
課題解決能力	各委員会の所管事務調査報告の内容	各委員会で地域課題を的確に捉え、調査研究を行いその結果政策提言を行い市民の福祉向上に貢献している状態。「5」となるのは公開の場での政策討論会や政策検討会の実施が必要。	4	4
	市民参加との関連性	調査の内容が市民の意見を基に行われ、その成果が議会報告や議会だより等で市民に提供されている状態。「4」となるためにはその成果が市民から評価されることが必要。	3	3
	議会独自の視点	調査の内容が「行政の政策にない議会独自の視点」を取り扱っている状態で「地産地消条例の特別委員会」を設置したため「2」となった。「3」となるには成果を市民に伝えることが必要。	1	2
意思決定能力	議案審査に資する委員会の内容	採決に至る過程で地域課題の本質を的確に捉え、解決に至る予算案の視点と共に委員間でさまざまな角度から審議している状態。「5」となるには委員間討議で一定の合意形成が必要。	4	4
	市民参加や課題解決との関連性	採決に至る過程での審議において「市民参加」や「課題解決能力」の成果を十分に活かしている状態。	4	5
	請願の審査	請願の採決に至る過程で、紹介議員からの説明を聞くとともに必要に応じ「請願者からの説明聴取」を行っている状態。「4」となるには関連する団体や行政からも同様に聴取が必要。	3	3
透明性	関連資料の公開	本会議での「審査(採決を含む)結果」が「議会だより」「ホームページ」で、過度に時期を逃さず誤りなく公開されている状態。「4」となるためには更に「より見やすく」することが必要。	2	3
	政務活動の公開	政務活動費の支出科目、金額、活動の目的及び内容を活動シートにて見やすく、遅滞なく公開している状態。領収書も公開済。「5」となるには、その成果も公開することが必要。	3	4
	発信媒体	「議会だより」「ホームページ」で情報を提供しており、視覚障がい者に対する配慮(音声配信)も十分にしている状態。「5」になるにはフェイスブック等による情報発信が必要。	3	4

5段階の評価区分 「1」早急に改善が必要 「2」改善が必要な状態 「3」良好な状態 「4」十分良好な状態 「5」理想の議会像

令和元年度政務活動費報告(R1.8～R2.3)

滝沢市議会には、議員の調査研究、その他の活動に資するために必要な経費の一部として一人あたり月額1万5千円の政務活動費が各会派等に交付されています。令和元年度の収支結果と主な活動内容を以下のとおりご報告いたします。

(単位:円)

会派名・会派に属さない議員	執行額 交付額	主な活動内容	会派名・会派に属さない議員	執行額 交付額	主な活動内容
滝政会(4人)	200,236 480,000	●自治体財政、予算審査に関する研修	日本共産党(2人)	76,845 240,000	●沿岸被災地の復興状況に関する調査研究
滝沢市民クラブ(3人)	360,000 360,000	●在宅医療や介護に関する研修 ●都市計画に関する研修 ●予算審議に関する研修	奥津 一俊	32,420 120,000	●デマンド型交通に関する調査研究
一新会(8～1月:3人) (2～3月:2人)	0 330,000		菅野 福雄	102,220 120,000	●デマンド型交通に関する調査研究 ●予算審議に関する研修 ●沿岸被災地の復興状況に関する調査研究
公明党(2人)	101,260 240,000	●自治体財政、予算審査に関する研修	佐藤 澄子	71,146 120,000	●環境保全に関する調査と市民への周知
新志会(2人)	213,935 240,000	●デマンド型交通に関する調査研究 ●予算審議に関する研修 ●沿岸被災地の復興状況に関する調査研究	藤原 治	118,260 120,000	●都市計画に関する研修 ●予算審議に関する研修
交付額合計額	2,370,000		返納合計額	1,093,678	
			執行合計額	1,276,322	
			執行率	53.85%	

調査研究活動に関する報告書や領収書等の詳細は6月1日からホームページに掲載しますのでご覧ください。

令和2年3月会議(2月27日~3月19日) 議案22件、諮問3件、同意3件、請願2件、発議2件を審議可決

○全員賛成で議決した議案 ※案件名は省略しています。正式名称を知りたい方は、議会事務局へお問い合わせください。

Table with columns: 議案等, 案件名, 概要. Lists 22 items including budget items and ordinance amendments.

○賛否が分かれた議案

Table with columns: 結果 (賛成/反対), 議員名 (1-20), 表決議員数, 賛成票数, 反対票数. Includes 3 items with split votes.

○討論 ※賛成討論はありませんでした。

Table with 3 columns: 議案第2号, 議案第4号, 議案第18号. Includes detailed text for each item and the names of dissenting members.

○人事

Table with columns: 諮問/同意番号, 人権擁護委員/教育委員/同意者, 氏名, 適任/同意.

○請願

Table with columns: 件名, 請願の趣旨, 請願者, 結果. Includes one item regarding climate change.

令和2年3月会議 第2回会議(3月27日) 議案1件、発議1件を審議可決

○全員賛成で議決した議案 ※案件名は省略しています。正式名称を知りたい方は、議会事務局へお問い合わせください。

Table with columns: 議案, 案件名, 概要. Lists 1 item regarding ordinance amendments.

○賛否が分かれた議案

Table with columns: 結果 (賛成/反対), 議員名 (1-20), 表決議員数, 賛成票数, 反対票数. Includes 1 item with a split vote.